

感染性胃腸炎の流行に備えましょう

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合があります。下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないようこまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので、適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをきちんと行うようにしましょう。



汚れた衣服は…

85°Cの熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。



消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。



吐いた!

しっかり消毒、ゴミは密封して捨てましょう

吐いたものには、ウイルスが含まれている可能性があります。きっちり消毒して、感染を防ぎましょう。

① 処理に必要なものを準備する

まず、換気します。消毒液やペーパータオル、布や雑巾(捨てられるもの)を用意し、使い捨ての手袋やマスクをつけます。

消毒液の作り方

家庭用塩素系消毒薬



6%の原液の場合、
ペットボトルの
キャップ4杯



水 1L

② 外から中心に向かってふき取る

吐いたものはペーパータオルなどで外から内側に向かってふき取り、ゴミはポリ袋に二重に密封して捨てます。

汚れた衣類は……

汚れを取り除いて消毒液につけておきましょう。



③ 消毒した後、水ぶきする

吐いたもので汚れたところを、消毒液を浸した布で外側から中心に向かってふき取ります。その後、水ぶきで消毒薬もふき取ります。

④ よく手を洗う

使い捨ての手袋やマスクもポリ袋に密封して捨て、手をよく洗きましょう。

胃腸炎の回復期は、まだ胃腸の働きが十分に戻っていない状態です。無理に普段の食事に戻さず、消化の良いものを少量ずつ進めていきましょう。お粥ややわらかく煮たうどん、野菜スープ、具の少ないみそ汁、すりおろしたリンゴ、バナナ、豆腐、白身魚などの脂肪の少ない食品がお勧めです。控えた方がよい食事は、揚げ物や脂っこい料理、乳製品(牛乳・ヨーグルトなど)、甘いお菓子やジュース、刺激の強い味付けの物などです。食欲のない時は無理に食べさせず、水分補給を優先します。普段の食事をして、嘔吐や下痢が再び見られたときは食事を消化の良いものに戻し、受診を検討しましょう。元気そうに見えても体力はまだ回復中です。ゆっくり休息を取り、普段の食事へ戻しましょう。

【1月の感染症情報】

感染性胃腸炎・胃腸かぜ 園児8名・職員5名
※上記の他にも、嘔吐・下痢・発熱の症状のお子さまが多数みられました。

2月の園医健診: 2/10 (火) くまのみ組

※他クラスのお子さまでも、何かご相談などがございましたら職員までお声かけ下さい。

